

## 滴一滴

ある生命保険会社の調査によると、日本で多い姓は「佐藤」「鈴木」「高橋」の順で、これら三つで人口の約4%を占めるといふ▼これらの姓の人に会ったことがあるかと尋ねられれば、多くの人が「ある」と答えよう。では「LGBT」の人たちに会ったことはあるだろうか▼性的少数者の総称で、同性愛のレスビアンやゲイ、両性愛のバイセクシュアル、生まれつきの性別に違和感を持つトランスジェンダーの頭文字を取った言葉である。20〜50歳代の7・6%がLGBTと自認しているとの調査もあり、「佐藤」「鈴木」「高橋」の姓を持つ人に匹敵するくらいの数があるとみられる▼「身近にいるはずのLGBTに、皆さんがなぜ会ったことがないのか。それは当事者が隠しているから」。今月、倉敷市であった日本女性会議で当事者の訴えを聞いた。公言する人も増えつつあるが、家族にも言えない人はまだ多い▼会議の分科会で当事者7人が体験を語った。心と体の性の不一致に悩みながら、誰にも相談できずに過ごす思春期のつらさ。同性のパートナーと長年同居していても、家族ではないからと病院の面会すら認められない理不尽さ。周囲の理解が進めば、改善されることは多いのではないかと思えた▼「私たちの存在を知ってほしい」。当事者たちの声がいっまでも胸に残る。